

# 創立30周年記念大会

## 30周年記念大会

羽生 美代子

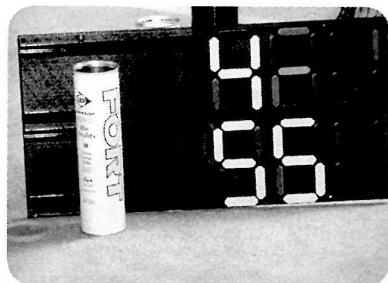
30周年によせて

4月26日に各地区から集まった130名余の皆様と支部創立30周年を祝って楽しい一日を過ごしました。

30年前に先輩方のご尽力で女子連に加盟し、その後会員数の増減はありましたが、女性が運営する組織として多くの活動をしてきました。1990年代には、松本地区で毎年開催されていた車いすテニス国際大会の大会運営・審判のボランティアに大勢の会員の協力をいただきました。当時はデビューしたばかりで初々しかった国枝選手が、今や世界のトッププレイヤーとして、パラリンピック等で活躍されていることを大変嬉しく思います。女子連は大会開催や審判活動の他に、ラブ基金・ピンクリボンキャンペーンなど様々な形で社会貢献をしています。

私たちは、この会の一員であることに誇りを持って、生涯スポーツとしてテニスを楽しみながら、友情の輪を広げていきたいですね。

次なる40周年に向けて、長野県支部が元気に発展していくことを祈念いたします。



## 〈初めの一步〉

昭和54年第一回全国レディース大会が開催され、長野県からは牛山・小松ペア、吉崎・桃井ペア、小林・小沢ペアが参加した。その頃日本女子テニス連盟は「女子の試合を平日に、女子の運営の元に行く」ことをモットーとして全国的な組織の結成を目指しており、参加選手に連盟に加入への呼びかけが行われていた。この加入に向けて、牛山さんが東奔西走して下さったことは支部便りの守屋さんの手記にある。

昭和59年長野県テニス協会総会において、協会に加盟している全女子を対象とした婦人部として発足が承認される。発足当時の組織は部長、副部長及び、東・南・北・中信に各1人の連絡員を置いていた。また婦人部の大会としては全国レディース、グリーンカップ（クラス別）、レッドカップ（団体戦）が行われた。

昭和61年県テニス協会の婦人部は発展的に解消し、日本女子テニス連盟長野県支部として、組織的、財政的にも独立が認められた。